

5 浸水防護施設に係る次の事項

1 外郭浸水防護設備の名称，種類，主要寸法及び材料

			変更前	変更後
名 称			—	防潮堤
種 類		—		鋼製防護壁* <sup>1</sup>
主 要 寸 法	天端高さ（上部工）	m		
	天端高さ（下部工）	m		
材 料		—		鉄筋コンクリート 溶接構造用圧延鋼材
材 料（基礎）		—		鉄筋コンクリート

注記 \*1：鋼製防護壁と取水構造物（取水路）の境界に止水機構を設置する。鋼製防護壁と鉄筋コンクリート防潮壁の境界に止水ゴムを設置する。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	防潮堤
種 類	—	鉄筋コンクリート防潮壁*1		
主 要 寸 法	天 端 高 さ ( 上 部 工 )	m		
	天 端 高 さ ( 下 部 工 )	m		
材 料	—	鉄筋コンクリート		

注記 \*1：主要な構造体の境界に止水ゴム等を設置する。

\*2：②区間及び③区間の値を示す。

\*3：②区間の値を示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	防潮堤
種 類		—		鋼管杭鉄筋コンクリート 防潮壁*1
主 要 寸 法	天 端 高 さ	m		
	杭 径	mm		
材 料		—		鉄筋コンクリート 鋼管杭 SM570

注記 \*1：主要な構造体の境界に止水ゴム等を設置する。

\*2：④区間の値を示す。

\*3：⑤区間の値を示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	防潮扉 1
種 類		—		スライドゲート
主 要 寸 法	た て	mm		8580*
	横	mm		7200*
	厚 さ	mm		1348*
	スキンプレート厚さ	mm		48 以上 (48*)
材 料		—		SM490A SM490B SM490C

注記 \* : 公称値を示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	防潮扉 2
種 類		—		スライドゲート
主 要 寸 法	た て	mm		6080*
	横	mm		5800*
	厚 さ	mm		1048*
	スキンプレート厚さ	mm		48 以上 (48*)
材 料		—		SM490A SM490B SM490C

注記 \* : 公称値を示す。

				変 更 前	変 更 後
名 称				—	放水路ゲート 1, 2, 3
種 類		—			逆流防止設備 (ゲート, フラップゲート)
主 要 寸 法	扉 体	た て	mm		3730*
		横	mm		4200*
		厚 さ	mm		828*
		スキムプレート 厚 さ	mm		28 以上 (28*)
	小 扉	た て	mm		660*
		横	mm		1210*
		厚 さ	mm		36 以上 (36*)
材 料	扉 体		—		SM490A SM490B
	小 扉		—	SM490B	

注記 \* : 公称値を示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	構内排水路逆流防止設備 1, 2, 3, 4, 7, 8, 9
種 類		—		逆流防止設備 (フラップゲート)
主 要 寸 法	外 径	mm		1200*
	厚 さ	mm		261*
	スキンプレート 厚 さ	mm		16.0 以上 (16.0*)
材 料		—		SUS304

注記 \* : 公称値を示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	構内排水路逆流防止設備 5,6
種 類		—		逆流防止設備 (フラップゲート)
主 要 寸 法	外 径	mm		650*
	厚 さ	mm		154*
	スキンプレート 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0*)
材 料		—		SUS304

注記 \* : 公称値を示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	取水路点検用開口部 浸水防止蓋 1, 10
種 類		—		浸水防止蓋
主 要 寸 法	た て	mm		3820*
	横	mm		870*
	厚 さ	mm		29.75 (30.0*)
材 料		—		SUS304

注記 \* : 公称値を示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	取水路点検用開口部 浸水防止蓋 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
種	類	—		浸水防止蓋
主要寸法	た て	mm		3820*
	横	mm		1535*
	厚 さ	mm		49.75(50.0*)
材 料		—	SUS304	

注記 \* : 公称値を示す。

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	海水ポンプグランドドレン 排出口逆止弁 1, 2	
種	類	—		逆流防止設備 (逆止弁)	
主要寸法	呼 び 径	—		80A	
	高 さ	mm		132*	
材 料				—	SUS316L

注記 \* : 公称値を示す。

			変更前	変更後
名 称			—	取水ピット空気抜き配管 逆止弁 1, 2, 3
種 類		—		逆流防止設備 (逆止弁)
主要 寸法	呼 び 径	—		100 A
	弁 本 体 厚 さ	mm		6.8 以上 (9.0*)
	弁 蓋 厚 さ	mm		22.0 以上 (22.0*)
材 料	弁 本 体	—		SCS16A
	弁 蓋	—		SCS16A

注記 \* : 公称値を示す。

			変更前	変更後	
名 称			—	放水路ゲート点検用開口部 浸水防止蓋 1, 2, 3	
種 類		—		浸水防止蓋	
主要 寸法	た て	mm		1350*	
	横			mm	4900*
	厚 さ			mm	322*
	スキンプレート厚さ			mm	22 以上 (22*)
材 料		—	SM490A SM490B		

注記 \* : 公称値を示す。

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	緊急用海水ポンプピット 点検用開口部浸水防止蓋	
種 類		—		浸水防止蓋	
主 要 寸 法	た て	mm		970*	
	横			mm	970*
	厚 さ			mm	152*
	スキンプレート厚さ			mm	12.0 以上 (12.0*)
材 料		—		SUS304	

注記 \* : 公称値を示す。



			変 更 前	変 更 後
名 称				緊急用海水ポンプ点検用開口 部浸水防止蓋*1
種	類	—		浸水防止蓋
主要寸法	た	て	mm	2740*2
	横		mm	6720*2
	高	さ	mm	342*2
	スキンプレート厚さ		mm	12*2
材 料			—	SUS304
*3 取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )		—	—
	設	置	床	—
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	—
			—	緊急用海水ポンプピット EL. 8.00 m

注記 \*1：内郭浸水防護設備と兼用する。

\*2：公称値を示す。

\*3：内郭浸水防護設備に使用する場合は記載事項。



			変 更 前	変 更 後
名 称				緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋*1
種	類	—		浸水防止蓋
主要寸法	た	て	mm	1370*2
	横		mm	1370*2
	高	さ	mm	160*2
	スキンプレート厚さ		mm	10*2
材 料			—	SUS304
*3 取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )		—	—
	設	置	床	—
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			—
			—	緊急用海水ポンプピット EL. 8.00 m

注記 \*1：内郭浸水防護設備と兼用する。

\*2：公称値を示す。

\*3：内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	SA用海水ピット 開口部浸水防止蓋 1, 2, 3, 4, 5, 6	
種	類	—			
主 要 寸 法	た	て			mm
	横				mm
	高	さ			mm
	厚	さ			mm
材	料	—			

注記 \* : 公称値を示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	緊急用海水ポンプ室 床ドレン排出口逆止弁
種 類		—		逆流防止設備（逆止弁）
主 要 寸 法	呼 び 径	—		80 A
	高 さ	mm		132*
材 料		—		SUS316L

注記 \*：公称値を示す。



			変 更 前	変 更 後
名 称				原子炉建屋原子炉棟水密扉*1
種 類		—		
主 要 寸 法	た て	mm		
	横	mm		
材 料	扉 板	—		
	芯 材	—		
*3 取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		
	設 置 床	—		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 \*1：内郭浸水防護設備と兼用。

\*2：公称値を示す。

\*3：内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。



			変 更 前	変 更 後
名 称				原子炉建屋付属棟東側水密扉*1
種 類		—		
主 要 寸 法	た て	mm		
	横	mm		
材 料	扉 板	—	—	
	芯 材	—		
*3 取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		
	設 置 床	—		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 \*1：内郭浸水防護設備と兼用。

\*2：公称値を示す。

\*3：内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。



			変 更 前	変 更 後
名 称				原子炉建屋付属棟西側水密扉*1
種 類		—		
主 要 寸 法	た て	mm		
	横	mm		
材 料	扉 板	—		
	芯 材	—		
取 付 箇 所	*3 系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		
	設 置 床	—		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 \*1：内郭浸水防護設備と兼用。

\*2：公称値を示す。

\*3：内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。



			変 更 前	変 更 後
名 称			—	原子炉建屋付属棟南側水密扉*1
種 類	—			
主 要 寸 法	た て	mm		
	横	mm		
材 料	扉 板	—		
	芯 材	—		
*3 取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		
	設 置 床	—		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 \*1：内郭浸水防護設備と兼用。

\*2：公称値を示す。

\*3：内郭浸水防護設備に使用する場合は記載事項。



			変 更 前	変 更 後
名 称			—	原子炉建屋付属棟 北側水密扉 1*1
種 類	—			
主 要 寸 法	た て	mm		
	横	mm		
材 料	扉 板	—		
	芯 材	—		
*3 取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		
	設 置 床	—		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 \*1：内郭浸水防護設備と兼用。

\*2：公称値を示す。

\*3：内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。



			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	原子炉建屋付属棟 北側水密扉 2* <sup>1</sup>	
種 類	—				
主 要 寸 法	た て	mm			
	横	mm			
材 料	扉 板	—			
	芯 材	—			
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )				—
	設 置 床				—
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号				—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ				—

注記 \*1：内郭浸水防護設備と兼用。

\*2：公称値を示す。

\*3：内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。

			変更前	変更後
名 称			—	緊急用海水ポンプ グラウンド dren 排出口逆止弁
種 類		—		逆流防止設備（逆止弁）
主要寸法	呼 び 径	—		80 A
	高 さ	mm		132* <sup>1</sup>
材 料		—		SUS316L

注記 \*1：公称値を示す。

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	原子炉建屋残留熱除去系 A 系 ポンプ室水密扉	
種	類	—			
主要寸法	た	て			mm
	横				mm
材 料	扉	板			—
	芯	材			—
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )				—
	設	置 床			—
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記 \* : 公称値を示す。

			変更前	変更後	
名 称			—	原子炉建屋原子炉隔離時 冷却系室北側水密扉	
種	類	—			
主要寸法	た	て			mm
	横				mm
材 料	扉	板			—
	芯	材			—
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )				—
	設 置 床				—
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記 \* : 公称値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	原子炉建屋原子炉隔離時 冷却系室南側水密扉
種類		—		
主要寸法	たて	mm		
	横	mm		
材料	扉板	—		
	芯材	—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記 \* : 公称値を示す。

			変更前	変更後	
名 称			—	原子炉建屋高圧炉心スプレイ系 ポンプ室水密扉	
種	類	—			
主要寸法	た	て			mm
	横				mm
材 料	扉	板			—
	芯	材			—
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )				—
	設 置 床				—
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記 \* : 公称値を示す。

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	海水ポンプ室ケーブル点検口 浸水防止蓋 1, 2, 3	
種 類		—		浸水防止蓋	
主 要 寸 法	た て	mm		1200*	
	横			mm	850*
	厚 さ			mm	17.75 (18.0*)
材 料		—		SUS304	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )			—	
	設 置 床			—	海水ポンプ室 EL. 0.80 m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			—	—

注記 \* : 公称値を示す。

表1 浸水防護施設の主要設備リスト (1/4)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
外郭浸水防護設備	-	-						防潮堤 (鋼製防護壁)	S*	-	-	-
								防潮堤 (鉄筋コンクリート防潮壁)	S*	-	-	-
								防潮堤 (鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁)	S*	-	-	-
								防潮扉 1	S*	-	-	-
								防潮扉 2	S*	-	-	-
								放水路ゲート 1, 2, 3	S*	-	-	-
								構内排水路逆流防止設備 1, 2, 3, 4, 7, 8, 9	S*	-	-	-
								構内排水路逆流防止設備 5, 6	S*	-	-	-
								取水路点検用開口部浸水防止蓋 1, 10	S*	-	-	-
								取水路点検用開口部浸水防止蓋 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	S*	-	-	-
								海水ポンプグラウンドドレン排出口逆止弁 1, 2	S*	-	-	-
								取水ピット空気抜き配管逆止弁 1, 2, 3	S*	-	-	-
								放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋 1, 2, 3	S*	-	-	-
								SA用海水ピット開口部浸水防止蓋 1, 2, 3, 4, 5, 6	S*	-	-	-
								緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋	S*	-	-	-
緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋	S*	-	-	-								
緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋	S*	-	-	-								

表1 浸水防護施設の主要設備リスト (2/4)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
外郭浸水防護設備	-	-	-	-	-	-	-	緊急用海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁	S*	-	-	-
								緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁	S*	-	-	-
								格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチA	S*	-	-	-
								格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチB	S*	-	-	-
								常設低圧注水系格納槽点検用水密ハッチ	S*	-	-	-
								常設低圧注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチA, B	S*	-	-	-
								常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉	S*	-	-	-
								原子炉建屋原子炉棟水密扉	S*	-	-	-
								原子炉建屋付属棟東側水密扉	S*	-	-	-
								原子炉建屋付属棟西側水密扉	S*	-	-	-
								原子炉建屋付属棟南側水密扉	S*	-	-	-
								原子炉建屋付属棟北側水密扉 1	S*	-	-	-
原子炉建屋付属棟北側水密扉 2	S*	-	-	-								

表1 浸水防護施設の主要設備リスト (3/4)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
内郭浸水防護設備	-	防水区画構造物	-	-	-	-	原子炉建屋原子炉棟水密扉	S * <sup>*2</sup>	-	-	-	
								C-2 * <sup>*3</sup>				
							原子炉建屋付属棟東側水密扉	S * <sup>*2</sup>	-	-	-	
								C-2 * <sup>*3</sup>				
							原子炉建屋付属棟西側水密扉	S * <sup>*2</sup>	-	-	-	
								C-2 * <sup>*3</sup>				
							原子炉建屋付属棟南側水密扉	S * <sup>*2</sup>	-	-	-	
								C-2 * <sup>*3</sup>				
							原子炉建屋付属棟北側水密扉 1	S * <sup>*2</sup>	-	-	-	
								C-2 * <sup>*3</sup>				
							原子炉建屋付属棟北側水密扉 2	S * <sup>*2</sup>	-	-	-	
								C-2 * <sup>*3</sup>				
							原子炉建屋残留熱除去系A系ポンプ室水密扉	C-2	-	-	-	
							原子炉建屋原子炉隔離時冷却系室北側水密扉	C-2	-	-	-	
							原子炉建屋原子炉隔離時冷却系室南側水密扉	C-2	-	-	-	
							原子炉建屋高压炉心スプレイポンプ室水密扉	C-2	-	-	-	
							海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋 1, 2, 3	C-2	-	-	-	
							緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋	S * <sup>*2</sup>	-	-	-	
								C-2 * <sup>*3</sup>				
							緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋	S * <sup>*2</sup>	-	-	-	
	C-2 * <sup>*3</sup>											
格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチA	S * <sup>*2</sup>	-	-	-								
	C-2 * <sup>*3</sup>											
格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチB	S * <sup>*2</sup>	-	-	-								
	C-2 * <sup>*3</sup>											
常設低圧注水系格納槽点検用水密ハッチ	S * <sup>*2</sup>	-	-	-								
	C-2 * <sup>*3</sup>											
常設低圧注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチA, B	S * <sup>*2</sup>	-	-	-								
	C-2 * <sup>*3</sup>											
常設代替高压電源装置用カルバート	S * <sup>*2</sup>	-	-	-								
原子炉建屋側水密扉	C-2 * <sup>*3</sup>											

表1 浸水防護施設の主要設備リスト (4/4)

			変 更 前				変 更 後					
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
内郭浸水防護設備	—	防水区画構造物		—				原子炉建屋*5	C*4	—	—	—
									C-2*3			

注記 \*1：表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「5 原子炉本体の基本設計方針，適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。

注記 \*2：浸水防止設備としての耐震重要度を示す。

注記 \*3：溢水の伝播を防止する設備としての耐震重要度を示す。

注記 \*4：火災防護設備としての耐震重要度を示す。

注記 \*5：区画分離壁（3時間以上の耐火能力を有する防護壁（150mm以上））を示す。

表2 浸水防護施設の兼用設備リスト

				変更前				変更後					
設備区分	系統名	機器区分	主たる機能の施設/設備区分	名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
外郭浸水防護設備	—	—	その他発電用原子炉の附属施設 非常用取水設備		—				貯留堰	S*	—	—	—

注記 \*1: 表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「5 原子炉本体の基本設計方針, 適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。